

山口県感染症発生週報

(第35週:平成23年8月29日～9月4日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

◆結核: 第27週追加:1例(宇部)。第28週追加:3例(いずれも宇部)。第29週追加:1例(宇部)。第30週追加:1例(宇部)。第32週追加:2例(宇部)。第33週追加:1例(岩国)。第34週追加:1例(周南)。第35週:2例(柳井、萩)。

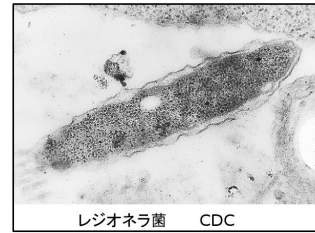
【4類感染症】

◆レジオネラ症: 第35週:1例(萩)。

【5類感染症】

◆アメーバ赤痢: 第35週:1例(下関)。

◆風しん: 第34週追加:1例(防府、検査診断されたのは先週ですが、6月中旬頃の患者です)。



レジオネラ菌 CDC

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

◆RSウイルス感染症: 今年は例年より早く増加傾向がみられますので、今後の動向に注意が必要です。

◆手足口病: 山口県では、第25週時点で手足口病の流行発生警報の発令をしています。第27週をピークに6週連続して減少していましたが、その後2週連続してやや増加しています。過去4年間の同時期と比較しても多い状況です。地域別にも増加した地域が多く、すべての地域で警報レベルが続いています。【警報レベル=すべての地域】※

◆伝染性紅斑: 過去4年間の同時期と比較すると、今年は4年ぶりに高い水準で推移しています。

【警報レベル=長門】※

◆ヘルパンギーナ: 今期は第28週をピークに大幅に減少し、第31週にすべての地域で警報レベルの開始基準値を下回りました。第35週現在、警報レベルの地域はありませんが、手足口病と同様に2週連続して増加しています。

◆流行性耳下腺炎: 警報・注意報レベルの地域はありませんが、過去4年間の同時期と比較すると多い状況が2010年から続いています。

◆マイコプラズマ肺炎: 患者発生報告がやや多い週が続いています。

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2011/keihotyuuhiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	33週	34週	35週	疾患名	33週	34週	35週
インフルエンザ	0	0	0	百日咳	0	0	1
RSウイルス感染症	23	29	27	ヘルパンギーナ	31	52	69
咽頭結膜熱	9	19	10	流行性耳下腺炎	49	48	45
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	42	33	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	133	148	147	流行性角結膜炎	3	3	4
水痘	31	41	25	クラミジア肺炎	1	0	0
手足口病	197	299	315	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	20	27	23	マイコプラズマ肺炎	14	5	9
突発性発しん	36	50	47	無菌性髄膜炎	1	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	2	1	0	5	0	1	17	0	1	27
咽頭結膜熱	2	0	0	2	0	6	0	0	0	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	1	1	5	1	13	1	1	4	33
感染性胃腸炎	13	4	1	30	5	41	34	11	8	147
水痘	5	0	0	1	2	9	5	3	0	25
手足口病	63	26	23	77	23	49	10	20	24	315
伝染性紅斑	1	5	0	0	1	4	4	8	0	23
突発性発しん	14	2	4	12	1	7	4	1	2	47
百日咳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ヘルパンギーナ	22	1	7	7	5	5	13	0	9	69
流行性耳下腺炎	24	8	4	2	0	5	1	1	0	45
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	3	0	0	0	0	0	1	0	0	4
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	3	2	0	4	0	0	0	0	0	9
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

山口県感染症情報センター(山口県環境保健センター内)

電話:083-922-7630 FAX:083-922-7632

<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/>